

株式会社 千葉経済開発公社

1 団体概要

設立年月日	昭和46年6月11日	資本金	100,000 千円 (うち市 40,000 千円 40.0%)
設立目的	千葉市内における住宅団地、特に稲毛海浜ニュータウンにおいて、店舗、事務所、駐車場等の建設・運営を行うことを目的として設立		
所在地	千葉市美浜区高洲2丁目3番14号		
代表者	代表取締役社長 小早川 雄司		
所管課	経済農政局経済部産業支援課		

2 組織状況 (令和7年4月1日現在) (単位:人)

	常勤	非常勤	計
役員(監事含む)	2	6	8
うち市OB	1		1
うち市派遣			
職員	3		
うちプロパー	3		
うち市OB			
うち市派遣			
計	5		

※常勤役員と常勤職員とを兼務している者については、常勤役員数にのみ計上し、その人数(内数)を括弧書で記載している。

3 財務状況 (単位:円)

	R4年度	R5年度	R6年度
営業利益	32,927,620	31,608,006	60,484,997
経常利益	35,301,193	34,077,156	61,446,765
税引前当期純利益	39,687,391	34,071,705	58,446,762
当期純利益	29,171,091	22,891,905	39,719,262
総資産(A)	1,778,029,642	1,789,614,131	1,828,728,876
負債(B)	464,183,994	457,876,578	462,272,061
純資産(A-B)	1,313,845,648	1,331,737,553	1,366,456,815
市補助金	0	0	0
市委託料	0	0	0

職員 平均年齢	54.7 歳	職員平均 給与(年額)	5,594,553 円	役員平均 報酬等額(年額)	9,115,527 円
------------	--------	----------------	-------------	------------------	-------------

※常勤職員(市派遣を除く)の平均

※常勤役員についての平均

4 実施事業

(単位:円、%)

主要事業	区分	事業内容	事業費※	依存率	
				市支出額	
マリンピア事業	自主	イオンマリンピアSCの施設管理運営			
ショッピングセンター事業	自主	高洲第一ショッピングセンター、高浜ショッピングセンター、稲浜ショッの管理運営			
駐車場事業	自主	高浜ショッピングセンター月極駐車場の管理運営			
土地賃貸事業	自主	介護付有料老人ホームへの土地賃貸(定期借地権)			
			199,111,795		0.0

※R6年度決算額

指定管理者として管理する 公の施設	
----------------------	--

情報公開	HPアドレス	http://www.ckkk.shop
	公開情報	<input type="checkbox"/> 定款・寄付行為 <input type="checkbox"/> 役員名簿 <input type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 経営改善計画

5 評価指標(共通指標)

(単位:%)

	評価指標	R4年度	R5年度	R6年度
自立性	補助金依存率	0.0	0.0	0.0
	受託事業収入率	0.0	0.0	0.0
	自主事業比率	100.0	100.0	100.0
効率性	人件費比率	33.4	31.7	29.7
	販管費比率	99.5	99.5	89.3
安全性	自己資本比率	73.9	74.4	74.7
	流動比率	376.7	462.8	434.3
	固定長期適合率	88.0	85.9	83.8

6 外郭団体による評価

総合評価	当社の最優先課題である高洲第一ショッピングセンターの改築による新規テナント出店については、ダイレックス株式会社の誘致が決定し、地域住民の皆さまのニーズが高い生鮮三品を取扱う総合ディスカウントストア店舗の2026年12月オープンに向けて準備を進めている。 マリンピア事業を含め安定した収入を確保し、当期売上高は前期比+3百万円の2億59百万円となり、販管費を前期比△25百万円の1億99百万円と抑制したことから、営業利益60百万円経常利益61百万円と増収増益となった。特別損益で商業施設立退料を計上したが、当期純利益40百万円と最終増益となった。
今後の方針	高洲第一SCの改築によるダイレックス株式会社の2026年12月予定の店舗オープンに向け、地域住民の皆さまの期待に応えるべく、スケジュール通りに計画が進捗できるよう行動していく。 高浜SCと稲浜ショッブは街かどギャラリーの活用等による地域交流拠点としての位置付けを強化するため、より効果的な環境整備を進めていく。マリンピア事業では、イオンマリンピアSCの来店されるお客さまにとってより良い店舗機能向上に向け、引き続きイオンリテール株式会社と意見交換を図る。 これらの活動を通じて、地域住民の皆さまへ幅広いサービスの提供が出来る施設の整備を目指す。

7 所管局による評価

総合評価	最優先課題である高洲第一ショッピングセンターについて、ダイレックス株式会社の誘致決定し、地域住民のニーズが高い店舗のオープンに向けた準備を進めていることや、マリンピア事業も含めて安定した収入を確保している点について評価したい。
今後の方針	高洲第一ショッピングセンターの改築によるダイレックス株式会社の店舗については、2026年12月予定のオープンに向け、スケジュールどおりに進捗されたい。 また、高浜ショッピングセンターと稲浜ショッブの街かどギャラリーの活用や、イオンリテール株式会社との意見交換の継続などを通じて、地域住民への幅広いサービスの提供を目指していただきたい。